

使ってわかったベストの空調はハイブリッド輻射冷暖房！

石原 体育館まで温めるハイブリッド輻射冷暖房だと一台で家中が温って効率的ですよ。エアコンだけで家中を温めるとなると何台も必要になるし、毎月の光熱費が大変ですよ。



大きな体育館も空調に輻射冷暖房を使っている



ハイブリッド輻射冷暖房は平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞している。

坊垣 私も家にこの輻射冷暖房をつけているんですが、冬の光熱費はエアコンの40%から、多い時には60%くらい省エネになります。冷房は10%~15%くらい省エネです。マンションなので戸建てとちよつと違うと思いますが、輻射冷暖房が省エ

な高血圧や糖尿病の問題も改善できますし、年間17000人亡くなっているヒートショックも防ぐことができます。

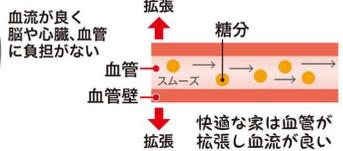
これからの空調は、子どもから老年寄りまで健康に暮らせる、血流や免疫力をアップする冷暖房システムでないといけないと考えています。

特に糖尿病は予備軍を入れると2000万人です。血管がもろくなって透析が必要になったり、脳卒中や心臓病の元にもなります。

寒い家が体に悪い理由

ストレスが少ない暖かい家

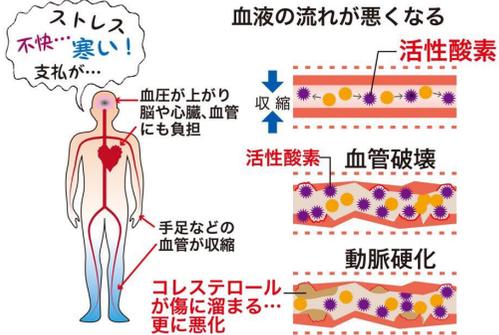
血液の流れが良い



ストレスが多い家

● 支払いが多い ● 不快 ● 健康の心配

血液の流れが悪くなる



良い ← 安全・安心・健康的 暖房機の性能比べ → 悪い

<p>【ハイブリッド次世代輻射冷暖房】</p> <p>BEST 冷暖房システム</p> <p>快適、省エネ、温度ムラなし。夏は冷房もできる万能空調。</p>	<p>【壁式の輻射暖房】</p> <p>ヨーロッパでは理想の暖房とされている。でも、冷房はできないので、高温多湿の日本に向かない。</p>	<p>【床暖房】</p> <p>快適なんだけど... 値段も光熱費も高い... 冷房ができない。体温の調節機能に混乱</p>	<p>【エアコン】</p> <p>温度ムラがある・足元が寒い髪や肌が乾燥してバサバサ</p>	<p>【石油ファンヒーター】</p> <p>石油ストーブ</p> <p>有害物質を出すので論外</p>
---	---	--	--	---

ネなのは確かですね。

赤外線は光と同じですから、乱反射を繰り返しながらジワジワと家中が暖かくなるわけです。床の温度も上がるから足元が冷たいうのも解消されるし、このハイブリッド輻射冷暖房があれば、床暖房はいらないうえです。

石原 冷え性の方には朗報ですね。ハイブリッド輻射冷暖房一台で足まで全身が温まりますし、当社の場合足元が寒くない気密断熱基礎を使っています。それに熱回収率90%の24時間換気システムが床下に入っているの床下の温度がほとんど室温と変わらないようになっています。

坊垣 それに日本の床暖房は温度



足元まで暖かい家は寒い家比べて... 高血圧 34%減 糖尿病 39%減になる

ていればそれで良いというわけではない。あれらはどちらかというと最低基準を定めているわけで、本当に人間に良い家を作ろうと思ったら、基準は目じやないくらいの良い家ができてと思います。

健康住宅の知識を日本の常識にする**と工務店や職人が未病を防ぐ名医になる！**

石原 私の夢は中国の扁鵲の故事のように、誰にも感謝されないけど未病を防ぐ家にしたいです。

坊垣 といいますと？

石原 昔中国に手術など治療が上手い名医が居たそうですが、本人は「そんなことない。本人が病気だと気づく前に直してしまう兄の方が本当の名医だ」という話があります。だから私たちが造る家は未病を防ぐそんな家にしたいです。

誰にも感謝されないけど、知らない間に病気が無くなっているというのが一番いい方法だと思います。そうしたら大工さんも、工務店も

が高すぎるんですね。快適ではあるんですけど。ヨーロッパでは床暖房ではなくて、壁式の輻射暖房が理想的だと考えられています。理由は足元だけが暖かいと体温の調節機能の混乱が起きます。

それと暖かい床にいつも触れていると、いつも血管が開いている状態になって、寒くなると血管が収縮して体温の低下を防ぐという機能が損なわれたり、手足など末端の温度コントロール機能がなくなったりして、日本の暖かすぎる床暖房は余り良い暖房方式ではないですね。

石原 そうですね。温水を床に通す普通の床暖房は確かに暖かすぎますね。当社の場合は床下の基礎部分に放熱器をつけて、暖か過ぎない快適な温度になるように工夫した床下暖房にしています。

冷えは万病の元！
体を芯から温めて血流や免疫力アップで命を救う家造り

石原 5つのハイブリッド輻射冷暖房システムで家中を暖かくすれば、国土交通省のデータにもあったよう

未病を防ぐ一番のお医者さんになれると思うんです。

坊垣 自然と病気が無くなるという感じですね。健康な家を作れば一人一人が支払う医療費も減ります。一人一人の医療費が減れば、国の医療費負担も減ります。健康に配慮した住宅を造ることは国自体の利益にもかなうことなんです。

石原 そうなんです。これからは大工さんとか工務店が誰にも感謝されないけど、本当の名医になれると思います。

大工さんもその原理（未病を防ぐ原理）を知って、お客様にお伝えしたら最高の学問、生きた学問になると思うんです。

今度、10数億円かけて家づくり大業も作りますけど、輻射冷暖房の実験施設や体感施設も作りたいと思っています。

坊垣先生にもその活動に是非参加していただきたいですね。

坊垣 もちろん喜んで講演でも実験でも協力させていただきます。